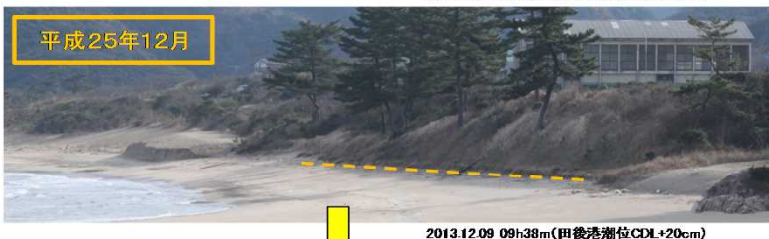


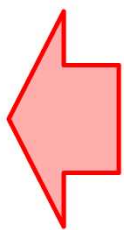
1 陸上海岸における近年の海岸侵食の状況

平成27年11月6日
鳥取県 鳥取県土整備事務所

■平成25年12月～平成26年2月に海岸侵食が発生。



■平成23年9月台風、平成24年12月～2月冬季高風浪により、当箇所の東側で浜崖の発生、遊歩道施設の崩壊などの被害も発生している。

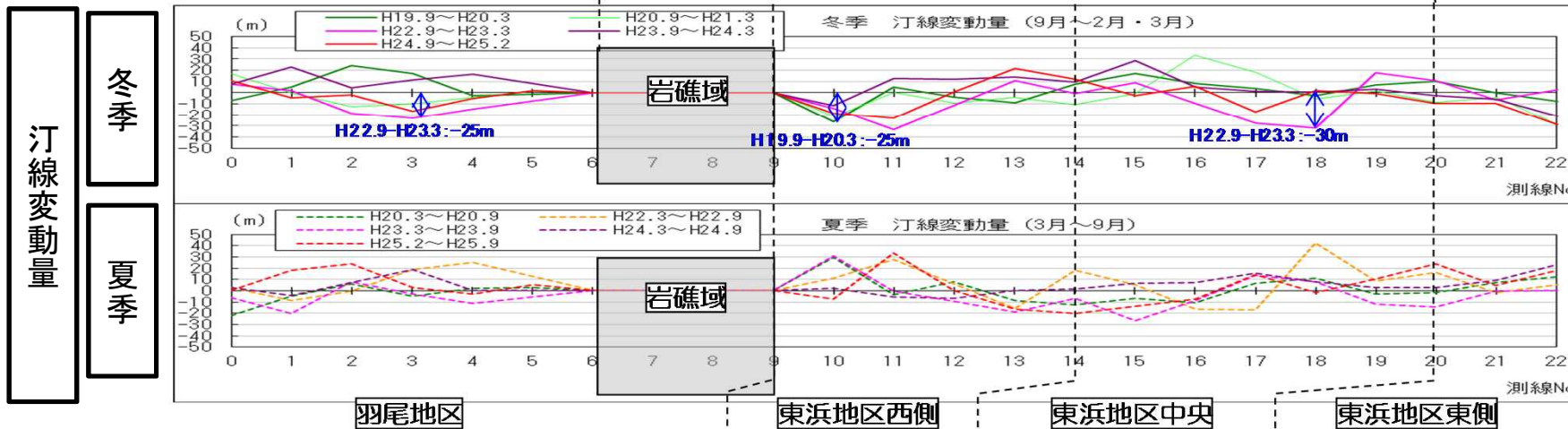
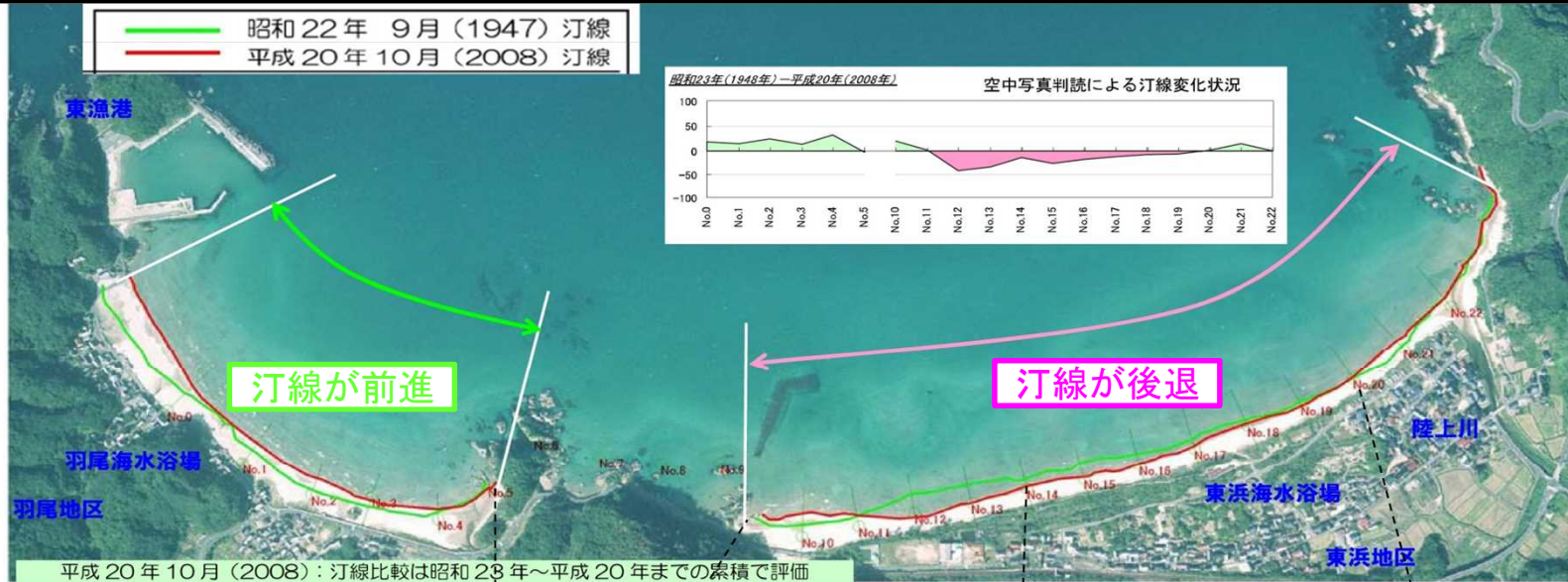


■平成25年12月10～23日まで、波高約3.0mの波浪が継続。
■平成26年1月においても、波高約2.0mの波浪が継続。
⇒ 異常気象(高波浪の継続)により、局所的な侵食が発生。



2 陸上海岸における課題

- 東漁港整備による流砂バランスの変化などにより、**長期的には東側海岸の汀線は後退している。**
- 近年(H19年度～現在)の汀線変化は、高波浪の襲来の影響などにより、**汀線の前進・後退の幅が大きく、浜崖ができるなどの侵食被害が発生することが課題。** ⇒ **適切な浜幅の確保が必要**



※汀線変動量は正值が汀線の前進、負値が汀線の後退を示し、変動量が0に近いほど、汀線の安定を示す。整理結果はサンドリサイクルによる影響を含む。汀線変動量の基準は平成18年9月。

3 陸上海岸の侵食メカニズムと現在の侵食対策の状況

■東漁港(管理者:岩美町)では平成16年度から、海岸(管理者:県)では平成24年度から、サンドリサイクルを実施中。



■侵食メカニズムの検証

- ・平成24年度に「岩美海岸(陸上地区)海岸侵食対策検討委員会」(学識経験者で構成)を設立。
- ・平成25~26年度に対策検討(測量・調査結果は、H18~H25年のデータで検証)

■現在の侵食対策

- ・人為的に土砂を移動させることで、海岸保全を図っている。
- ・しかしながら、土砂の絶対量が少ないため、浜幅の拡大までには至っていないことが課題。

■平成27年度の実施済み内容(県のサンドリサイクル)

- ★5月中旬~7月上旬...工事完了
- サンドリサイクル土量 V=7,600m³
- ※H28年度以降も継続して実施予定。

4 更なる海岸侵食対策事業への着手(平成27年度～平成29年度)

■浜幅回復のため、過去に沖合投棄した土砂量(3万m³)を、沖合から浚渫し、汀線側へ養浜する。



■平成27年度の実施済み内容

- ★6月中旬～7月中旬...工事完了
 海上養浜土量
 V=10,000m³
- ※モニタリング(効果検証)しな
 がら、H28年度も継続して
 実施する予定

【事業効果】(H27～H29年度までの3ヶ年の事業実施による効果)
 ■浜幅を33m(平均)以上確保することを目標とし、背後地での侵食被害を解消する。
 ※平成23年9月時点の浜幅は約25m(平均)。